

<定年前の本音>

**同級生の〇〇ちゃん、部長夫人ですって。**

**羨ましい。しばらく同窓会行けないわ**

妻に高校卒業 30 周年の同窓会の案内が来た。電話で昔の友人の動向を探っているらしい。いままで行ったためしがないのに。まあ、体重が 2 倍になっているから、行っても誰だかわからんだろうが。

**なんだか、悪いわね。気にしないでね。**

妻が昇進した。年収でも役職でも先を越された。気にしてなんかないやい。

**今度は何日いるつもりかしら。長男の嫁ってしんどいわ。**

年 1 回、夫の両親が観光を兼ねて上京。一か月前くらいから妻のイライラが始まる。2 人の子供もこの時期はバイトと称してやけに遅く帰って来る

**3 年は待たないとダメみたい。私、3 年も自信ないわ。**

夫の父の痴呆がひどくなった。特別養護老人ホームは空きがない。入所待ちで 2,3 年はかかりそうだ。妻も病弱で通院している。

**ぐっすり眠りたい**

夫婦で遅い夕飯。妻は寝たきりの義父の介護に疲れ果てて、箸を持ったまま、うたた寝している。会社には介護休暇制度はあるが誰も使ったことがない。どう思われるか不安だ。でも妻のほうが心配だ。

**ときどき飲んでるの。一人でいると退屈なんだから。**

飲んで帰宅したら、妻も酔っている。そういえば、サイドボードのボトルがなくなっている。思わず酔いが醒めた。

**よく、もったね、二人とも。**

銀婚式の記念日。子供たちからプレゼントを渡されて。おまえたちにいわれる筋合いはない。

**苦勞して建てた家なのに、いつも私一人なんだから。**

念願のマイホームを建てて一年半。子供たちは不便と言って、会社の寮に入り、夫は通勤に 1 時間 45 分かけて通う。朝は暗いうちから、夜は 10 時くらいまで妻が一人で家にいる。

**私が稼いだお金よ。何に使たって勝手にしょ。**

資格をとって妻が復職。最近、服や持ち物が派手になって来た。日曜日ごとにデパートめぐりで、夫の昼食はカップ麺。「今日は何買って来たんだ」と茶化したら。

**あなたまた、変なこと考えてるんじゃないでしょうね。**

ログハウスのカタログや田舎暮らしの本を見つけて男のロマンを変なこととは何だ。

**私の人生、あなたの妻だけってわけじゃないのよ。**

妻の旧姓で届く手紙を発見。さりげなく聞いてみると。

**肝心なことはみんな私に決めさせるのね。会社でもそうなんですよ！**

町内会の行事から子供の進学問題まで、何でも相談してくれるのだが、つい「いいよ、おまえに任せる」が口癖になってしまっていた。

## 私にもそれくらい気を使ってほしいわ。

念願のベンツオーナー。傷はないか、汚れはないか、たいそうな気の使いよう。しかも妻には運転させたくない。

<定年時の本音>

## で、それいくらかかるの？

最近、妻は支出に敏感になっている。オレは世間話のつもりでも、頭の中ですぐそろばんをはじく癖がついているようだ。

## これだけしか余裕ないんだから我慢してください

夫のこづかいが現役時代の3分の一に

## 私の収入あてにしないでね

こづかいは年金支給日に合わせて2か月に一回になった。財布を握っている者は強い。

## お義母さんの面倒どうするの？私に押しつけないでよ、自分の親なんだから

母は近所で一人暮らし。膝を悪くして通院は妻が付き添っている。

## 自分のほうが偉いと思ってるわけ？

「オレに見せてみる」「オレがやってやる」が口癖の夫に向かって。

## 「ガチャン」

毒のある文句でもあるうちはいいほうだ。いきなり皿を割るという抗議にあった。このぶんじゃ、2,3日は口もきかないだろうなあ。

## 二人でとった写真ないわねえ

子供が結婚するので、アルバムの整理をしていた。あるのは子供の写真と夫の社員旅行の写真ばかり。

## もう栄養とる必要ないんだから、粗食にしましょう

今までだって「カロリー取り過ぎは禁物」といっていて、充分粗食だった。

<定年後の本音>

## まじめに働いただけじゃ、老後は苦しいのね

退職金で住宅ローンを返済した。700万円残った。

## あと何年もつかしら

預金通帳を見ながら

## 家と私たちとどっちがもつかしら

わが家は築50年。けっこうガタがきている。リフォーム資金もないし。

## 孫のお年玉どうします。私、余裕ありませんよ。

オレだって余裕ないよ。孫はかわいいが5人もいるとなあ。

## だいぶ、すすけてきたわねえ。まだ、飾っとくの。

勤続30年の表彰状。毎年、大掃除のたびに言うセリフ。

今日は孫が来ますから、入歯ちゃんと磨いてくださいよ

娘一家が遊びに来る。女房は娘の旦那がお気に入りだ。いつもより化粧が濃いぞ。むかつくなあ。

言っときますけど、時効は認めませんからね。

大昔の浮気。まだ根にもってる。

もう少し、身ざれいにしてくださいよ。一緒に歩きたくないわ。

駅前のデパートの催し物へ。以前はネクタイもハンカチも揃えてくれたのに。

待ってても誰も来てくれませんよ。自分で話し相手を探してみたら。

私がいなかったら、誰とも話せないんじゃないの。

テレビを消すと家の中がシンと静まりかえる。

仕方ないじゃないですか。いつかはそうなるんですから。あなたも私も。

親友が亡くなった。寂しいお葬式だった。

届くのは墓地や老人ホームのDMばかりね。

最近よく来るなあ。女房は捨てずにとってあるみたいだけど。

今度の日曜日、行ってみませんか？

墓地と墓石の案内が来た。まだまだか、そろそろか。複雑だ。

ダメよ、家に上げちゃ。老人専門の詐欺が多いのよ。

一人で留守番していると「奥さんに頼まれました」と言って、電話機の交換や、包丁研ぎの代金を請求しにくるやつがいる。

家族や友人を含め、自分の周りにどんな人間がいて、自分とどう関わっているのかを整理するために、私は、私のところへ相談にみえる方に「4つの系図」を作ることをお勧めしている。

第一は「**家族の系図**」。家族・親類の名前を樹系図に記し、連絡先の電話番号を書き込んでおく。研究所に相談にみえた方に「従兄弟の名前が全員言えますか?」と聞くと、完全に答えられる人は滅多にいない。先の阪神大震災の例ではないが、イザというときに親戚に連絡が取れないようでは、やはり困る。第二は「**友人の系図**」。遊び仲間や酒飲み仲間の一覧だ。思い立ったときに住所録をひっくり返しているようでは、つい友人とも疎遠になってしまうのではなかろうか。第三は「**10番の系図**」。これは医師、弁護士、銀行員といった特定分野の人脈。困ったときに役に立つのは何といても専門家の知識だ。第四は「**趣味仲間の系図**」。本章に出てくる「妻のひと言」をみても、無趣味でゴロゴロしているだけのご亭主が、いちばん奥方のヒンシュクをかっているようである。

日本の総人口の15%近くが65歳以上の高齢者となった現在、高齢者には高齢者独自の生活ノウハウが求められていると私は思う。ご紹介した「4つの系図」はそのひとつにすぎないが、他にもノウハウはいろいろあるし、また考えていかなければならないだろう。